



# 第43回

## 鉄構塗装技術討論会

### 開催のご案内

主催：一般社団法人日本鋼構造協会

協 賛

(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁建設協会  
(一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会 (一社)日本鉄鋼協会  
(一社)日本塗装技術協会 (一社)日本塗料工業会  
(一財)日本塗料検査協会 (公社)腐食防食学会  
(公財)スガウエザリング技術振興財団

■本討論会は土木学会 CPD 申請プログラムです。



【認定番号：JSCE20-0798】

新型コロナウイルスによる感染症が世界的に流行し、わが国でも不要不急の外出自粛や事業者への休業要請、入国制限、オリンピックの延期などの対応がとられ、社会経済活動にも多大な影響が出ています。内閣府が発表した2020年4～6月の国内総生産（GDP）の実質伸び率は、マイナス27.8%（年率換算）と戦後最悪のマイナス幅となりました。現時点でもなお、日々新たな感染拡大が報じられるなど未だ収束の気配はありませんが、一方で、この未曾有の災禍を機に、企業では恒久的なテレワークの導入による働き方改革や、オンライン会議や自動化・省人化技術による業務効率の改善が試みられるなど、コロナ後を見据えて社会は徐々に変容しつつあります。

コロナ後の新しい日常を支え社会の安定を維持していくために、また、近年多発・激甚化する自然災害に対応していくために、社会基盤構造物の整備・維持・更新を確実に実施し、より強靱なものに転換していく必要性がこれまでよりも強く認識されてきており、これを実現するために不可欠な防錆・防食技術の担う役割が今後一層大きくなるものと期待されます。

各種の防食技術がある中で、塗装は明治以来の長年にわたって鋼材の防錆防食技術として適用されてきた信頼性を有しており、重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が望まれています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として活用されることを期待し、開催するものです。

本討論会では、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。43回目となる本年度の討論会は、感染症拡大のリスクを回避するため、従来の参集型の開催形式を取りやめオンライン形式で開催します。次頁の要領にて発表を募集いたしますので、ふるって応募くださいますようお願いいたします。また、発表の応募とともに、本討論会へ参加いただきますよう関係各位へのご連絡ともども宜しく願いいたします。

今年度も本討論会へ多数の御参加をいただきますよう、宜しく願いいたします。

鉄構塗装技術討論会実行委員長：富山 禎仁（鋼構造物塗装小委員会委員長）

# 開催要領

1. 日 時：2021年1月21日(木)～31日(日) / オンライン形式

今回動画視聴のため使用するツールは以下の通りです。

《動画運営会社》：株式会社ワンゴジュウゴ

《動画配信サービス》：MOOGA (ムーガ)

2. 参加費：会員（協賛団体も含む）… 5,870円（消費税、予稿集代金・郵送料込み）  
一般 … 5,870円（ ” ” ）  
官公庁職員・学生 … 5,870円（ ” ” ）

3. 申込方法：下記よりお申込下さい。

URL <https://business.form-mailer.jp/fms/a7731962101180>

部数を確認し、予稿集を印刷しますので、**12月25日(金)まで**にお願い致します。

※お申込み後の取り消しはできかねますので、ご注意ください。

動画配信開始までに、予稿集を郵送致します。

4. 問合せ先：一般社団法人日本鋼構造協会「第43回鉄構塗装技術討論会」係

【 E-mail: [jssc-paint@jssc.or.jp](mailto:jssc-paint@jssc.or.jp) 】

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-8 アミノ酸会館ビル3階

TEL. 03-3516-2151

委員長からのご挨拶 (3~5分程度)		鉄構塗装技術討論会 実行委員会 委員長：富山 禎仁 ((国研) 土木研究所)	
①	高遮断性を有する剥離抑制型変性エポキシ樹脂塗料の設計と今後の展望	○西森修次 (株)四国総合研究所	大捕秀基 (株)四国総合研究所 坂口聡彦 (株)四国総合研究所 服部雅史 (株)高速道路総合技術研究所 手塚渉太 (株)高速道路総合技術研究所
②	高遮断性を有する剥離抑制型変性エポキシ樹脂塗料の開発	○山内健一郎 (大日本塗料(株))	加藤瑞樹 (大日本塗料(株)) 清水悠平 (大日本塗料(株)) 松本剛司 (大日本塗料(株)) 坂口聡彦 (株)四国総合研究所 大捕秀基 (株)四国総合研究所 西森修次 (株)四国総合研究所
③	「鋼構造物塗装のVOC削減に関する検討(Ⅱ)―無溶剤形塗料・低溶剤形塗料の適用性検討(その7)―	○田代 稔 (神東塗料(株))	富山禎仁 ((国研) 土木研究所) 定石圭司 (大日本塗料(株)) 太田優輝 (関西ペイント(株)) 石川隆士 (日本ペイント(株)) 小林泰之 (中国塗料(株))
④	塗装後19年のふっ素樹脂塗料の煙突鉄塔塗膜調査と考察	○尾知修平 (AGC(株))	笹原大輔 (AGC(株)) 梅澤圭吾 (AGC(株)) 鷺見直子 (AGC(株)) 笠原 潔 (AGC(株))
⑤	環境にやさしい塗膜はく離剤工法による塗り替え塗装適性の評価～沖縄暴露試験15年後の結果	○荻田 雄馬 (インバイロワンシステム(株))	富山禎仁 ((国研) 土木研究所) 臼井 聡 (インバイロワンシステム(株))
⑥	塗装コストを削減した新規重防食塗装系の施工方法の検討 -模擬橋梁試験体の暴露15年後試験結果-	○石川隆士 (日本ペイント(株))	富山禎仁 ((国研) 土木研究所) 田代 稔 (神東塗料(株)) 定石圭司 (大日本塗料(株)) 太田優輝 (関西ペイント(株)) 小林泰之 (中国塗料(株))
⑦	誘導加熱式塗装剥離工法に対する取組み	○笹嶋純司 (株)横河ブリッジホールディングス	白水晃生 (株)横河ブリッジ
⑧	鉄道橋へのプラスト適用に向けた検討	○坂本達朗 (公財) 鉄道総合技術研究所	鈴木 慧 ((公財) 鉄道総合技術研究所) 鈴木隼人 (建設塗装工業(株))
⑨	複合サイクル試験装置槽内における局所的な環境評価	○鈴木 慧 (公財) 鉄道総合技術研究所	坂本達朗 ((公財) 鉄道総合技術研究所)

※ ①～⑨の各プログラムの所要時間は20分を予定しております。

(全体の所要時間は、3時間を予定しております。)

また、質疑は後日メールで受付いたします。